

報道発表

令和6年8月22日  
名古屋税関  
四日市税関支署

## 令和6年7月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年7月分について、輸出額は「石油製品」などが減少したものの、「有機化合物」、「映像機器」などが増加したことから、対前年同月比5.6%の増加となった。また、輸入額は「非鉄金属鉱」、「有機化合物」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが増加したことから、同32.0%の増加となった。

その結果、差引額は1,144億円（同66.1%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	936億円	+5.6%	2,080億円	+32.0%	▲1,144億円	+66.1%
	12カ月連続の増加		4カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 有機化合物	89億円	+66.4%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,086億円	+23.3%	
		(2) 映像機器	20億円	+186.9%			(2) 石油製品	178億円	+86.8%	
		(3) 写真用・映画用材料	24億円	+90.0%			(3) 液化天然ガス	263億円	+24.1%	
	減少品目	(1) 石油製品	62億円	▲22.8%		減少品目	(1) 非鉄金属鉱	14億円	▲39.4%	
		(2) 自動車	71億円	▲9.9%			(2) 有機化合物	23億円	▲12.1%	
		(3) 原動機	19億円	▲21.4%			(3) 電気回路等の機器	5億円	▲33.2%	
	地域別動向					地域別動向				
	アジア、北米が増加、大洋州は減少					アジア、中東が増加				

（参考）ドルレートは、159.77円（前年同月比12.3%、17.45円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。